

平成30年度 NTT東日本関東病院 病院指標

年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	299	104	341	655	1008	1753	2827	3940	2560	379

平成29年度と比較しますと10歳未満と70歳以上の患者が増加しています。地域の高い期待に対応できるように病院の体制を整える必要性を感じております。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1ーなし、1,2あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	279	4.5	4.47	0.00	69.52	
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1ー1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	243	3.15	3.01	0.41	69.29	
050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等2なし	129	4.94	5.15	0.00	63.43	
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1ー2あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	104	3.38	3.38	0.00	70.63	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	69	11.36	11.36	2.9	84.83	

循環器内科では、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞等）に対するカテーテル検査・治療を行っています。血管内超音波（IVUS）、光干渉断層法（OCT）、冠血流予備能比（FFR）などの検査を併用しながら、より正確性の高い治療ができるよう取り組んでいます。不整脈治療におけるカテーテルアブレーション治療では、従来から行われている高周波アブレーションに加えて、クライオ（冷凍）アブレーションも実施しています。

■消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	742	3.81	2.67	0.00	65.05	
060050xx0300xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む）	326	8.45	8.22	0.31	70.84	

	む。) 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法 (一連として) 等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし						
060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 手術・処置等2なし	285	7.49	8.52	0.00	69.52	
060035xx03xxxx	結腸 (虫垂を含む。) の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	168	6.45	7.09	0.6	68.42	
060340xx03x00x	胆管 (肝内外) 結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	111	7.46	10.08	0.9	74.61	

消化器内科は内部を専門別に消化管内科と肝胆膵内科の態勢として診療を行っています。消化管内科では早期の消化器がん (食道、胃、十二指腸、大腸等) に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) など、肝胆膵内科では肝臓がんに対するラジオ波焼灼療法や胆膵疾患に対する内科的治療など、いずれも低侵襲の治療を主軸に行っております。

■脳神経内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
010080xx99x001	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし 15歳以上	15	16	12.09	6.67	46.93	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	13	19.15	20.92	23.08	78.69	
010110xxxxx40x	免疫介在性・炎症性ニューロパチー 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	-	-	16.16	-	-	
010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	17.67	-	-	
010170xx99x00x	基底核等の変性疾患 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	14.37	-	-	

脳神経内科では、脳炎・髄膜炎、頭痛、てんかん、など若い方でもよく見られるものまでさまざまな病気の診断・治療を行っています。

また、神経難病と呼ばれる筋萎縮性側索硬化症(ALS)、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの診断・治療にもあたっております。

■高血圧・腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	116	5.72	12.05	0.86	60.46	
110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-1あり 副傷病なし	24	12.54	14.21	0.00	69.71	

110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2なし 副傷病なし	16	9.06	8.75	0.00	71.94
110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり 副傷病なし	13	6.08	7.18	0.00	42.92
110290xx99x00x	急性腎不全 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	12	8.08	13.16	8.33	70.42

高血圧・腎臓内科では、慢性腎臓病（CKD）Grade3b、高齢者はGrade4の患者さんには、進行を抑えることを目標として、入院教育を実施しています。
CKDが進行して透析導入になる患者さんには、バスキュラーアクセス(内シャント・動脈表在化・人工血管挿入) 作製しております。

■糖尿病・内分泌内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
100070xx99x100	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。） 手術なし 手術・処置等2-1あり 副傷病なし 85歳未満	14	5.07	13.90	0.00	61.79	
100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2なし 副傷病なし	11	6.36	13.50	0.00	43.36	
100070xx99x110	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。） 手術なし 手術・処置等2-1あり 副傷病あり 85歳未満	-	-	15.51	-	-	
100070xx99x000	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。） 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし 85歳未満	-	-	11.05	-	-	
100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	-	-	10.03	-	-	

糖尿病・内分泌内科では通院治療で血糖値を下げるのが難しい糖尿病の患者様を対象に入院となります。
糖尿病を治療するスタッフには、日本糖尿病学会が認定する糖尿病専門医、研修の指導を行う指導医、日本糖尿病療養指導士認定機構が認定するCDEJ（日本糖尿病療養指導士）資格を取得している看護師、管理栄養士、臨床検査技士が揃っています。

■血液内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	58	14.76	16.17	6.90	70.66	
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等	47	37.7	40.13	2.13	69.23	

	2-2あり						
130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等2-4あり	31	8.81	10.62	0.00	69.65	
130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	29	26.62	32.36	6.9	71.28	
130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	18	30.44	21.33	0.00	72.94	

血液内科では、急性白血病・慢性白血病・悪性リンパ腫といった各種造血器悪性腫瘍に対し抗がん剤による治療を行っています。

骨髄不全症候群（再生不良性貧血、発作性夜間ヘモグロビン尿症、骨髄異形成症候群）、特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血などの各種血液疾患の集学的治療を実施しています。また、治療が難しい血液疾患に対する新薬の臨床試験にも取り組んでいます。

■腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
060035xx99x60x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-6あり 副傷病なし	11	4.09	4.41	0.00	64	
060020xx99x30x	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-3あり 副傷病なし	-	-	6.70	-	-	
180050xx99xxxx	その他の悪性腫瘍 手術なし	-	-	14.67	-	-	
060020xx99x6xx	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-6あり	-	-	5.95	-	-	
060020xx99x70x	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-7あり 副傷病なし	-	-	7.51	-	-	

腫瘍内科では、悪性腫瘍の診断を受け、「抗がん薬治療」を主体とした治療を検討している患者さんを対象に診療を行っています。

当科では外来通院が中心で、外科医・放射線科医・看護師・薬剤師・社会福祉士といったさまざまな職種と密に連携を取りながら、がん医療を提供していきます。

■呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	77	6.66	10.00	0.00	67.47	
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	41	15	14.58	2.44	72.93	
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	37	15.11	19.06	16.22	72.11	
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	29	4.14	3.43	0.00	75.28	

040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	28	19.18	20.92	14.29	87.39	
----------------	----------------------------	----	-------	-------	-------	-------	--

呼吸器内科では、肺がんを中心とした悪性腫瘍の検査と抗がん剤治療のための入院が最多となっています。その他では、間質性肺炎や慢性閉塞性肺疾患に対する入院が多くなっています。また、臨床研究を通じて、がんや間質性肺炎をはじめとする難治性呼吸器疾患の次世代の標準治療の開発にも努めています。

■呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし	109	8.1	11.87	0.00	67.56	
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	13	7	10.08	0.00	43.62	
040030xx01xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除等	-	-	9.29	-	-	
040050xx97x0xx	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	-	-	14.07	-	-	
040150xx97x00x	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	31.09	-	-	

呼吸器外科では、主に原発性肺がんに対して低侵襲な胸腔鏡下手術を行っています。原発性肺がんのほか、転移性肺腫瘍、自然気胸、縦隔腫瘍などの手術を行っています。ロボット支援による胸腔鏡下手術が2018年12月より保険診療となりより安全な手術を提供できるように今後さらに技術を高めていきたいと考えています。

■小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
140010x199x00x	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上）手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	245	5.17	6.17	5.71	0	
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重1500g以上2500g未満）手術なし 手術・処置等2なし	30	6.73	11.32	20	0	
030270xxxxxxxx	上気道炎	-	-	4.96	-	-	
040070xxxxx0xx	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	-	-	6.14	-	-	
040090xxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他） 副傷病なし	-	-	6.19	-	-	

小児科では当院の産科とも協力し合い、小児科の医師もお子さんの出生直後から積極的に新生児ケアに関わっています。

■外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上）ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	179	3.33	4.96	0.00	68.78	
060035xx01000x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	109	12.47	15.30	1.83	67.27	
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	99	6.25	7.30	0.00	59.33	
060020xx02x00x	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	72	13.81	16.49	0.00	67.01	
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	48	7.71	8.95	0.00	76.71	

外科では、順位1は鼠径ヘルニアに対する根治手術目的入院となります。

順位2は結腸がんに対する根治目的入院です。

順位3は胆のう結石や胆のう炎などの胆のう疾患で入院された患者様に対して腹腔鏡下胆のう摘出術を実施した場合に該当となります。

■脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	29	8.52	11.80	3.45	77.34	
010030xx01x00x	未破裂脳動脈瘤 脳動脈瘤頸部クリッピング等 手術・処置等2なし 副傷病なし	23	16.17	15.41	8.7	62.35	
010010xx01x00x	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	22	19.05	21.16	13.64	57.55	
010070xx01x0xx	脳血管障害 脳血管内手術等 手術・処置等2なし	17	15.29	14.61	0.00	68.12	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	15	9.33	7.35	13.33	80.33	

脳神経外科は、ガンマナイフセンター・脳血管内科・脳神経内科と連携しながら神経疾患の診療にあたっています。

脳卒中ホットラインを運営しており、24時間365日、近隣の医療機関や救急隊からの連絡を当院の医師が直接受け、緊急手術にも対応しています。

■脳血管内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数	平均 在院日数	転院率	平均年齢	患者
--------	-------	-----	------------	------------	-----	------	----

			(自院)	(全国)			用パス
010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	39	15	16.18	28.21	71.41	
010060x2990201	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	27	10.41	16.16	7.41	72.52	
010070xx9910xx	脳血管障害 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	23	2.96	3.16	0.00	71.87	
010060x2990411	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-4あり 副傷病1あり 発症前Rankin Scale 0、1又は2	22	18.41	18.22	31.82	76.27	
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	21	5.29	7.28	4.76	61.00	

脳血管内科では、主に脳卒中の診断、内科的治療、予防を行っています。

特に脳梗塞超急性期に対するt-PA（tissue plasminogen activator）静注療法（血栓を溶かす点滴治療）や脳血管内治療（カテーテルで閉塞血管を再開通する治療）に力を入れています。

■ガンマナイフセンター

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
010010xx9906xx	脳腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2-6あり	241	6.6	4.00	2.07	63.07	
010010xx99000x	脳腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	20	2.35	11.45	5	62.1	
010040x0991xxx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）手術なし 手術・処置等1あり	11	3	3.33	0.00	35.73	
010010xx01x6xx	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手術・処置等2-6あり	-	-	36.79	-	-	
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	18.72	-	-	

ガンマナイフセンターではガンマナイフ治療に積極的に取り組み、治療実績を積んできました。

転移性脳腫瘍、良性脳腫瘍、脳動静脈奇形など頭部の病変が治療対象となります。

最短では2泊3日の入院で治療が完了し、身体へのダメージを抑えられるため、多くの方にとって早期の社会復帰が可能となっています。

■心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステント グラフト内挿術 手術・処置等2なし	12	10.17	12.01	0.00	76.58	
050161xx97x10x	解離性大動脈瘤 その他の手術あり 手 術・処置等2-1あり 副傷病なし	-	-	28.37	-	-	
050163xx01x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤 切除術（吻合又は移植を含む。） 上行 大動脈及び弓部大動脈の同時手術等 手 術・処置等2-1あり 副傷病なし	-	-	28.31	-	-	
050050xx0100xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術 （梗塞切除を含む。） 単独のもの等 手 術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	20.33	-	-	
050080xx0100xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術 （自己肺動脈弁組織による大動脈基部置 換術）等 手術・処置等1なし 手術・処 置等2なし	-	-	21.62	-	-	

心臓血管外科では、主に成人の心臓・血管疾患に対する手術治療を行っています。

特に、オフポンプバイパス術やステントグラフト内挿術、MICS（小切開心臓手術）などの低侵襲心臓手術を積極的に取り入れています。

■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
070343xx01x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨 盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、 椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を 含む。） 前方椎体固定等 手術・処置等 2-1あり	69	21.07	25.83	10.14	69.96	
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含 む。） 人工関節再置換術等	61	18.49	22.27	16.39	69.69	
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	59	29.54	26.30	66.1	82.81	
070343xx97x1xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨 盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処 置等2-1あり	41	18.27	19.52	12.2	70.27	
070341xx020xxx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 頸部 脊 椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多 椎間又は多椎弓の場合を含む。） 前方 椎体固定等 手術・処置等1なし	40	21.55	20.71	12.5	66.97	

整形外科は、「関節」「脊椎・脊髄」「手外科」と3つのチームに分かれ、それぞれが専門性をもちながら診療にあたっています。

順位1は、腰部脊柱管狭窄症や腰椎すべり症などに対する手術目的入院です。

順位2は変形性股関節症、変形性膝関節症、大腿骨骨頭壊死、関節リウマチなどに対する人工関節置換術を行っています。

■スポーツ整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
160620xx01xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。） 腱縫合術等	63	11.83	14.27	0.00	26.16	
160620xx02xxxx	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。） 関節滑膜切除術等	16	4.56	7.29	0.00	26.88	
160610xx97xxxx	四肢筋腱損傷 その他の手術あり	-	-	9.49	-	-	
070010xx010x0x	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。） 四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	-	-	5.59	-	-	
070230xx02xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 骨穿孔術等	-	-	27.71	-	-	

スポーツ整形外科では、主に肩・膝や足関節・足に起こるスポーツ障害・外傷に対する手術治療を積極的に行っています。

主な対象疾患として膝前十字靭帯損傷、膝内側側副靭帯損傷、半月板損傷、離断性骨軟骨炎、膝軟骨損傷、足関節靭帯損傷、下肢疲労骨折、アキレス腱断裂、肩関節脱臼、肩腱板損傷などがあげられます。

■皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	126	2	2.85	0.00	68.2	
080020xxxxxxxx	帯状疱疹	86	7.29	8.98	0.00	63.53	
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	80	10.46	12.51	1.25	65.6	
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）等 手術・処置等1なし	29	2.07	4.05	0.00	56.66	
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。） その他の手術あり 手術・処置等1なし	14	2.71	4.86	0.00	58.36	

皮膚科は下肢静脈瘤外来を設けており、下肢静脈瘤に対する総合的な治療を目指しています。

ストリッピング術、高位結紮術、血管内レーザー焼却といった手術治療を目的とした入院が最も多くなっています。

次いで多い疾患は、帯状疱疹や蜂巣炎となっています。

■泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
--------	-------	-----	--------------------	--------------------	-----	------	-----------

110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 副傷病なし	231	2.11	2.53	0.00	68.95	
110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	108	11.41	12.63	0.00	69.12	
110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	80	8.79	8.65	0.00	73.28	
110070xx02020x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2-2あり 副傷病なし	55	6.24	7.40	0.00	74.55	
110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	53	6.38	7.20	0.00	73.00	

泌尿器科では、前立腺癌に対する生検目的入院が最も多く、原則として1泊2日での入院となります。次に症例が多いのは前立腺がんに対する手術目的入院です。当院では内視鏡下で手術を支援するロボットを導入しています。ロボット手術では、ロボットアームが細かく的確な縫合ができることに加え、腹腔鏡下で行うことから従来の開胸手術と比べると出血の量が少なくすむので傷口は小さく、痛みも少ないです。

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術等 手術・処置等2なし	105	2.9	3.20	0.00	38.41	
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	71	8.97	9.87	0.00	43.34	
120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	65	8.62	9.70	0.00	33.43	
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	59	5.95	6.28	0.00	43.54	
12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	35	10.17	12.58	0.00	61.11	

婦人科では、子宮頸部異形成に対しての子宮頸部円錐切除術が多く、子宮筋腫、子宮内膜症に対しての子宮全摘術が続きます。子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんに対しての悪性腫瘍手術も行っています。産科では2017年秋には産婦人科病棟を改装し、産科を単科病棟にしました。小児科とも連携し、より多くの分娩に対応していきたいと考えています。

■眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	260	2.03	2.84	0.00	77.21	
020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	-	-	7.05	-	-	
020160xx97xxx0	網膜剥離 手術あり 片眼	-	-	9.75	-	-	

020180xx97x0x0	糖尿病性増殖性網膜症 手術あり 手術・処置等2なし 片眼	-	-	7.52	-	-
020200xx9700xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	6.55	-	-

眼科で行っている目の手術のうち、大多数は白内障の手術となっています。
全身性の病気をお持ちの患者さんに対する白内障手術の際には、他科の医師とも密に連携し、常に安全な治療と術後管理を行うことを心がけています。
また、網膜や硝子体の病気（糖尿病網膜症や加齢黄斑変性など）に力を入れており、患者さんの病状に応じた治療を提供できる体制を整えています。

■耳鼻・頭頸部外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	37	7.08	7.04	2.7	56.27	
030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	32	6.19	7.37	0.00	59.41	
03001xxx01000x	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	30	5.73	13.57	0.00	66.47	
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	26	3.92	5.10	0.00	67.92	
03001xxx99x3xx	頭頸部悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2-3あり	25	17.04	36.03	0.00	62.16	

耳鼻・頭頸部外科では、慢性副鼻腔炎（いわゆる蓄膿症）に対しほとんどの場合、内視鏡下鼻内副鼻腔手術（ESS）という手術を実施しています。
両側同時に行うこともできるESSには、入院が短期間で済むというメリットや、術後の痛み・腫れが少ないというメリットがあります。
頭頸部の悪性腫瘍には可能な限り負担の少ない手術方法を選択しています。

■ペインクリニック科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
010120xx99xxxx	特発性（単）ニューロパチー 手術なし	149	2.11	6.80	0.00	69.25	
070350xx01xxxx	椎間板変性、ヘルニア 内視鏡下椎間板 摘出（切除）術等	60	6.45	10.47	0.00	54.18	
070343xx99x20x	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨 盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等 2-2あり 副傷病なし	50	9.34	6.59	0.00	75.42	
010111xxxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2 なし	43	12.49	12.45	0.00	70.40	
050170xx99000x	閉塞性動脈疾患 手術なし 手術・処置等 1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	42	4.05	7.68	0.00	56.64	

ペインクリニック科は、腰椎椎間板ヘルニアなどによる腰痛、頸椎症などによる首・肩・腕の痛みなど、さまざまな痛みを生じる病気の診療を行っています。

最も多いのは三叉神経痛に対してのGGB（ガッセル神経節ブロック）治療となっています。

原則として1泊2日入院で治療可能です。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数>

	初発					再発	病期分類 基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	353	13	10	18	27	74	1	8
大腸癌	138	38	56	35	154	169	1	8
乳癌	39	24	11	0	6	34	1	8
肺癌	80	19	46	50	21	135	1	8
肝癌	28	21	10	5	5	327	1	8

※ 1：UICC TNM分類， 2：癌取り扱い規約

当院では、地域がん診療連携拠点病院（高度型）としてがん治療の方針を、各専門外科・内科、腫瘍内科（抗がん剤治療医）、放射線科、病理診断科、薬剤部など各専門家が集まり議論するカンサーボードを開催しており、内視鏡治療や外科治療後の抗がん剤治療への連携も迅速に対応しており、先進の集学的治療でチーム医療を行っています。

胃癌、大腸癌、肝癌

食道、胃、十二指腸、大腸の早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD：内視鏡を用いてがんのある部分の粘膜下層までを剥離し、病変を一括切除する治療）を積極的に行っています。特に十二指腸がんに対するESDに関しては、関東のみならず遠方からも患者さんにお越しいただいています。原発性・転移性肝癌も多く扱い、ラジオ波焼灼療法や肝動脈塞栓療法を行っています。また、各種のがんに対するがん化学療法などの内科的治療を行っています。

乳癌

乳癌治療の大きな柱としては、外科治療・薬物治療・放射線治療の3つが挙げられます。そのいずれかに偏ることなく、医学的根拠（エビデンス）と診断の結果に基づき、患者さん一人ひとりの状態や価値観に合わせてそれらを適切に組み合わせながら最善の治療方針を決定しております。

マンモグラフィ（MMG）や超音波検査（エコー）、乳房MRI、を使用して乳腺疾患を診断致します。

さらに必要であれば、乳腺（腫瘤）穿刺を行い、病理組織で確定診断に至ります。手術方法は、腫瘤切除、乳房部分切除（乳房温存術）、乳房切除（全摘術）、乳頭乳輪温存乳房切除、乳がん手術後の再建手術などです。さらに、センチネルリンパ節生検もRI（放射性同位元素を使用）やICG（インドシアニングリーン）を使用した蛍光法を利用して手術中に行います。乳腺穿刺は、超音波やMMGなどを用いて行う方法です。

その確定診断をもって治療の選択を行います。また乳房切除後の再建手術で人工物（エキスパンダー）の挿入が必要な場合には、形成外科医師と合同で同時に手術を行います。

肺癌

「肺癌に対しては、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、腫瘍内科、緩和ケアと密接な連携・協力体制をとって、経験豊富な医師や専門医とともに一人ひとりの患者さんに合わせ、最適と考えられる手術を目指しています。

2018年9月からロボット支援下胸腔鏡下肺葉切除術を開始し、12月より保険診療を開始しました。ロボット支援下手術では、術者がロボットの動きを司る機械を両手で操作して手術を行います。組織を引っ張ったり掴んだりする鉗子は、術者の両手の動きに合わせて細かく動くうえに関節もあるため、精密に動かすことができます。またロボット支援下手術では、両眼視できる特殊なカメラを使用します。これによって、通常の胸腔鏡手術ではモニター上に平面でしか映し出され

なかった術野が、ロボット支援下手術では立体的に見えるようになりました。このように、ロボット手術には多くの利点があります。多くの患者さんがロボット支援下の手術の恩恵を受けることができるよう、今後さらに技術を高めていきたいと考えています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	24	10.25	54.96
中等症	110	17.49	78.4
重症	44	16.82	86.09
超重症	11	20.55	77.36
不明			

市中肺炎とは・・・病院外で日常生活をしていた人に発症した肺炎をいいます。

A-DROPとは・・・「市中肺炎ガイドライン」による重症度分類で、以下の5項目を評価して分類します。

重症度分類とは・・・A-DROPの該当項目数により分類します。ただし、意識障害（ショック）であれば1点でも超重症とします。

軽症：0点

中等症：1～2点

重症：3点

超重症：4～5点、意識障害（ショック）がある場合

脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日 数	平均年齢	転院率
3日以内	201	19.33	73.72	28.57
その他	37	17.54	69.16	4.20

当院では、脳卒中ホットラインを運営しており、24時間365日、近隣の医療機関や救急隊からの連絡を当院の医師が直接受け、スムーズに患者さんを受け入れられるような体制を築いています。脳梗塞診療は専門病院への早期受診と早期治療開始が機能改善にとって大切なことです。脳梗塞患者さんは、平成30年度は201例が3日以内に入院しています。その結果、発症後4.5時間以内の超急性期脳梗塞に対するアルテプラゼ（t-PA）静注での血栓溶解療法が毎年25例以上に実施されています。さらには適応例には機能的血栓回収術も積極的に実施しております。今後もさらに多くの脳梗塞患者さんの受け入れを推進していきます。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

■循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
------	----	-----	------------	------------	-----	------	-----------

K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	196	1.73	2.46	0.51	70.08	
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ）	100	1.83	2.47	0.00	64.53	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	61	1.15	3.30	1.64	75.02	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	43	0.02	8.07	0.00	66.58	
K5952	経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）	33	1.45	2.85	0.00	60.85	

年間手術件数の順位1は経皮的冠動脈ステント留置術で、適応疾患は狭心症・心筋梗塞などです。順位2は心房中隔穿刺又は心外膜アプローチによる経皮的カテーテル心筋焼灼術となり、適応疾患は心室頻拍、心房頻拍、心房粗細動などです。順位3は四肢の血管拡張術・血栓除去術で、適応疾患は閉塞性動脈硬化症などです。順位4は経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）で適応疾患は急性心筋梗塞です。順位5は経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）で、適応疾患は順位2の疾患と同一となります。当科では、夜間・休日含めた24時間365日様々な循環器疾患の患者さんを受け入れることができる体制を整えています。急性心筋梗塞などに対する緊急カテーテル治療もいつでも可能であり、心臓血管外科との緊密な連携のもとに緊急手術にも対応しています。また、救命救急処置を含む急性期の心臓疾患に対して集中治療を行うために、CCU（Cardiac Care Unit：心臓病集中治療室）が8床用意されており、24時間体制で集中的な治療や看護にあたっています。

■消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	564	1.11	1.14	0.00	67.72	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層）	329	1.4	5.46	0.00	67.74	
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）	288	1.23	2.69	0.00	61.65	
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	217	1.39	4.17	0.46	67.03	
K697-32	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cmを超える）（その他）	184	1.77	8.27	0.54	70.68	

年間手術件数の順位1は内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）で、適応疾患は大腸ポリープや大腸がんです。順位2は内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層）で適応疾患は胃の早期がん、十二指腸の早期がんやポリープなどです。順位3は内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）で適応疾患は大腸ポリープや大腸がんです。順位4は早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術で適応疾患は早期大腸がんです。順位5は原発性・転移性肝癌のラジオ波焼灼療法です。他にも肝臓がんに対する経動脈的塞栓術や各種消化器がんの化学療法、胆膵疾患に対する内科的治療などを行っています。

■脳神経内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	10	28.6	28.4	60.00	64.6	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	-	-	-	-	-	
K502-5	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	-	-	-	-	-	

K5041	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

年間手術件数の順位1は、「胃瘻造設術」で神経難病における栄養療法として実施されます。適応疾患は筋萎縮性側索硬化症(ALS)・多系統萎縮症(MSA)・脳梗塞後遺症などでみられる嚥下障害があった場合などに実施されます。なお、順位2以下は10件未満のため詳細な揭示は省略しています。

■ 高血圧・腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K610-3	内シャント設置術	30	6.33	16.2	6.67	71.87	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	-	-	-	-	-	
K608-3	内シャント血栓除去術	-	-	-	-	-	
K6261	リンパ節摘出術（長径3cm未満）	-	-	-	-	-	
K655-22	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	-	-	-	-	-	

年間手術件数の順位1は内シャント設置術で、対象疾患は慢性腎不全（慢性腎臓病Grade3b以上）となります。順位2以下は10件未満のため詳細な揭示は省略しています。

■ 呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）	57	1.86	6.75	0.00	69.37	
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	33	1.12	3.18	0.00	65.33	
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	19	1.42	5.95	0.00	67.11	
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	18	3.28	5.39	0.00	45.94	
K5132	胸腔鏡下肺切除術（その他）	13	1.15	3.77	0.00	62.23	

年間手術件数の順位1及び順位2は、より小さな傷で肺切除を行う胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術となっており、肺の切除範囲に違いがあります。順位3は小さな肺がんに対して根治性を確保しながら、肺機能の温存を目指した肺区域切除による肺悪性腫瘍手術となります。順位4は気胸や肺のう胞などに対する胸腔鏡下手術となります。順位5は良性肺腫瘍などに対する胸腔鏡下肺切除術（その他）となります。

■ 外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	鼠径ヘルニア手術	179	1.32	1.01	0.00	68.78	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	141	1.35	3.89	0.00	60.06	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	104	3.04	9.79	1.92	66.60	
K655-22	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	48	1.9	11.13	0.00	66.42	

K6113	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	35	1.6	5.63	0.00	63.86
-------	----------------------------------	----	-----	------	------	-------

年間手術件数の順位1は鼠径ヘルニア手術で適応疾患は鼠径ヘルニアとなっております。順位2は腹腔鏡下胆のう摘出術で適応疾患は、結石性胆のう炎・胆のう結石症などが該当となります。順位3は腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術となり、適応疾患は結腸の悪性新生物（大腸がん）が該当します。順位4は腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）で適応疾患は、胃の悪性新生物（胃がん）が該当します。順位5は抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）で癌に対する化学療法を何回も行っていると、血管の脆弱化を来すことがあります。これを予防することで全身への影響を少なくして副作用を軽減させることを目的として、抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置しており、消化器癌では癌種や選択される薬剤に応じて設置しています。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫洗浄・除去術（穿頭）	35	0.51	7.46	5.71	78.57	
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	32	4.03	20.38	9.38	60.84	
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	31	1.45	17.84	12.90	63.84	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	22	0.59	29.86	81.82	68.95	
K6101	動脈形成術、吻合術（頭蓋内動脈）	21	5.19	20.14	14.29	60.00	

年間手術件数の順位1は慢性硬膜下血腫洗浄・除去術（穿頭）で適応疾患は慢性硬膜下血腫などです。順位2は頭蓋内腫瘍摘出術（その他）で適応疾患は脳腫瘍、髄膜腫などです。順位3は脳動脈瘤頸部クリッピング術で、動脈瘤が未破裂も含み破裂例ではなくも膜下出血を伴います。順位4は頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）で適応疾患は被殻出血・小脳出血・皮質下出血などです。順位5は動脈形成術、吻合術（頭蓋内動脈）で適応疾患は、もやもや病・中大動脈狭窄症などです。

■脳血管内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	16	3.56	8.88	12.50	76.00	
K178-4	経皮的脳血栓回収術	14	0.79	22.14	42.86	78.86	
K178-2	経皮的脳血管形成術	-	-	-	-	-	
K597-3	植込型心電図記録計移植術	-	-	-	-	-	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	-	-	-	-	-	

年間手術件数の順位1は経皮的頸動脈ステント留置術で適応疾患は頸動脈狭窄症・閉塞症などです。順位2は経皮的脳血栓回収術で適応疾患は脳梗塞（脳塞栓症）などです。順位3以下は10件未満のため詳細な揭示は省略しています。当院では、脳卒中ホットラインを運営しており、24時間365日、近隣の医療機関や救急隊からの連絡を当院の医師が直接受け、スムーズに患者さんを受け入れられるような体制を築いています。

■心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
------	----	-----	--------	--------	-----	------	-------

K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（2吻合以上）	12	8.33	14.58	8.33	66.00	
K555-31	胸腔鏡下弁置換術（1弁）	11	4.18	15.73	18.18	72.09	
K554-21	胸腔鏡下弁形成術（1弁）	-	-	-	-	-	
K56120	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	-	-	-	-	-	
K5601-	大動脈瘤切除術（上行）（その他）	-	-	-	-	-	

年間手術件数の順位1は冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（2吻合以上）で適応疾患は狭心症・心筋梗塞などです。心臓が動いた状態で行うため、術者の高度な技量が要求される手術です。順位2は弁置換術で適応疾患は大動脈弁、僧帽弁などです。順位3以下は10件未満のため詳細な揭示は省略しています。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（股）	97	1.52	18.62	18.56	72.34	
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）	75	2.27	17.35	13.33	69.59	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	44	4.25	22.41	54.55	81.25	
K1425	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）	32	2.38	15.91	18.75	72.75	
K1421	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）	31	4.1	25.58	22.58	68.48	

年間手術件数の順位1は人工関節置換術（股）で、対象疾患は股関節症です。順位2及び順位4、順位5は脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術で、対象疾患は腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、腰椎分離すべり症、側湾症などです。順位3は骨折観血的手術（大腿）で、対象疾患は大腿骨などです。

■ スポーツ整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K079-21	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	51	1.29	9.96	0.00	26.98	
K068-2	関節鏡下半月板切除術	13	1.38	2.46	0.00	25.85	
K069-3	関節鏡下半月板縫合術	-	-	-	-	-	
K037-2	アキレス腱断裂手術	-	-	-	-	-	
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿）	-	-	-	-	-	

年間手術件数の順位1は関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）で、対象疾患は前十字靭帯損傷です。順位2は関節鏡下半月板切除術で、対象疾患は半月板損傷などです。順位3以下は10件未満のため詳細な揭示は省略しています。

■ 皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	88	0	1	0.00	68.48	

K6171	下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	24	0	1	0.00	67.58	
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	17	0.12	4.82	0.00	70.88	
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	16	0.5	1.5	0.00	60.88	
K6173	下肢静脈瘤手術（高位結紮術）	14	0	1	0.00	67.50	

年間手術件数の順位1及び順位2、順位5は下肢静脈瘤に対する手術となっております。当科は下肢静脈瘤外来を設けており、下肢静脈瘤に対する総合的な治療をめざしています。専門外来では、患者さん一人ひとりの状態を詳しく検査したうえで、ストリッピング術、高位結紮術、血管内レーザー焼却といった手術治療を行っています。これらの手術は、基本的に1泊2日入院していただいたうえで実施しています。順位3は、皮膚悪性腫瘍切除術で適応疾患は基底細胞癌、有棘細胞癌・悪性黒色腫などの皮膚悪性腫瘍などです。順位4は皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）で適応疾患は上皮腫、線維腫などの皮膚良性腫瘍上皮腫、いぼ（疣贅）、アテローム、伝染性軟属腫などです。

■泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K80364	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	109	1.48	4.03	0.00	74.01	
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）	107	1.59	8.83	0.00	69.14	
K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）	80	2.13	6.15	1.25	73.40	
K773	腎（尿管）悪性腫瘍手術	34	2.35	7.97	0.00	60.82	
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	16	0	1	0.00	58.81	

年間手術件数の順位1は膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）で、対象疾患は膀胱癌の中でも非浸潤癌などです。順位2は腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）で、対象疾患は前立腺がんです。順位3は経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）で、対象疾患は前立腺肥大症です。順位4は腎（尿管）悪性腫瘍手術で、対象疾患は腎がん、尿管がんなどです。順位5は体外衝撃波腎・尿管結石破碎術で腎結石、尿管結石などです。

■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）	68	0.97	4	0.00	43.40	
K877	子宮全摘術	65	1.09	6.86	0.00	51.46	
K867	子宮頸部（腔部）切除術	64	0.98	0.94	0.00	41.44	
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	62	1.06	6.87	0.00	34.18	
K867-4	子宮頸部異形成上皮レーザー照射治療	41	0.95	0.93	0.00	33.54	

年間手術件数の順位1は子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）で適応疾患は適応疾患は卵巣のう腫、卵巣のう腫茎捻転、卵巣腫瘍などとなります。順位2は子宮全摘術で適応疾患は子宮筋腫、子宮筋症、子宮頸上皮内癌、子宮頸部異形

成などとなります。順位3は子宮頸部（腔部）切除術で適応疾患は子宮頸上皮内癌、子宮頸部異形成などです。順位4は帝王切開術（選択帝王切開）で適応病名は骨盤位、前置胎盤、既往帝王切開術後妊娠などです。順位5は子宮頸部異形成上皮レーザー照射治療で上皮内癌、子宮頸部異形成などです。

■眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 □	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	258	0.02	1	0.00	77.36	
K2801	硝子体茎頭顕微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）	15	0	2.87	0.00	61.87	
K2802	硝子体茎頭顕微鏡下離断術（その他）	-	-	-	-	-	
K281	増殖性硝子体網膜症手術	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

年間手術件数の順位1は眼内レンズ挿入を伴う水晶体再建術で、対象疾患は白内障となります。順位2は硝子体茎頭顕微鏡下離断術で、対象疾患は網膜剥離・網膜前膜・黄斑円孔などです。全身性の病気をお持ちの患者さんに対する手術の際には、他科の医師とも密に連携し、常に安全な治療と術後管理を行うことを心がけています。順位3以下は10件未満のため詳細な揭示は省略しています。

■耳鼻・頭頸部外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	32	1.81	5.16	0.00	31.88	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	26	1.38	4.19	0.00	57.31	
K3932	喉頭腫瘍摘出術（直達鏡）	17	1	1.53	0.00	68.29	
K374	咽頭悪性腫瘍手術	14	1.14	6.36	0.00	66.50	
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型（汎副鼻腔手術）	13	1.15	3.92	0.00	52.92	

年間手術件数の順位1口蓋扁桃手術（摘出）で適応疾患は慢性扁桃炎・扁桃肥大などです。順位2及び5は慢性副鼻腔炎、副鼻腔のう胞などです。順位3喉頭腫瘍摘出術（直達鏡）で適応疾患は喉頭乳頭腫症などです。順位4は咽頭悪性腫瘍手術で適応疾患は咽頭がんなどです。

■ペインクリニック科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K1344	椎間板摘出術（経皮的髄核摘出術）	63	2.84	2.59	0.00	55.38	
K1901	脊髄刺激装置植込術（脊髄刺激電極を留置）	48	2.96	11.5	2.08	61.13	
K188-2	硬膜外腔癒着剥離術	46	0.8	2.37	0.00	62.65	
K196-2	胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）	33	0.09	1	0.00	30.67	

K142-4	経皮的椎体形成術	-	-	-	-	-
--------	----------	---	---	---	---	---

年間手術件数の順位1は椎間板摘出術（経皮的髄核摘出術）で適応疾患は椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症などです。順位2は脊髄刺激装置植込術（脊髄刺激電極を留置）で適応疾患は脳卒中後の疼痛・パーキンソン病による腰の痛み・腰椎手術後の疼痛・CRPS（複合性局所疼痛症候群）・帯状疱疹後の神経痛・末梢血管障害による痛み（閉塞性動脈硬化症、バージャー病、レイノー病など）などです。順位3は硬膜外腔癒着剥離術は適応疾患は順位1と同一です。順位4は胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）で適応疾患は脊椎圧迫骨折です。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	1	0.01
		異なる	12	0.09
180010	敗血症	同一	18	0.13
		異なる	13	0.09
180035	その他の真菌感染症	同一	4	0.03
		異なる	3	0.02
180040	手術・処置等の合併症	同一	63	0.45
		異なる	3	0.02

播種性血管内凝固症候群、敗血症、真菌感染症は、重症感染症、がん、免疫抑制状態に伴って起こりえます。当院では難易度の高い手術・治療を行うよう邁進し、さらに手術・処置等における合併症の減少に努力いたします。

更新履歴

2019.09.27 平成30年度病院指標作成